

科目名	保育原論		担当教員	小久保 圭一郎		
			担当形態	単独		
テキスト	「幼稚園教育要領解説」フレーベル館 「保育用語辞典」ミネルヴァ書房	単位数 授業形態	2単位	講義	開講時期	前期
<p><b>講義概要</b></p> <p><b>■到達目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保育の基本原則とその意味を説明できる。</li> <li>・ 保育者の基本的姿勢を理解し、説明できる。</li> <li>・ 保育の歴史を認識し、これからの保育の課題について説明できる。</li> </ul> <p><b>■授業の概要</b></p> <p>幼稚園、保育所、認定こども園の黎明期から現在までの一連の流れをじっくりと見ていると、保育の原理原則は自ずと明らかになってくる。講義の内容を理解すれば、保育する上で大事にしなければならないこととは何か、そのために保育者が身につけなければならない姿勢とは何か、が見えてくる。講義の内容を理解してもらうために、定期試験や課題、小レポートの他、毎回授業の始めに小テストを実施することを予定している。</p> <p><b>■授業計画</b></p> <p>第1回 教科ガイダンスー本教科の概観と到達目標</p> <p>第2回 保育における子どもの発達観から保育の基本原則を考える</p> <p>第3回 幼稚園教育要領と保育所保育指針の内容から保育の基本原則を考える</p> <p>第4回 保育関係諸法令から保育の基本原則を考える</p> <p>第5回 A 幼稚園の実践から保育内容と方法について考える</p> <p>第6回 B 保育園の実践から保育内容と方法について考える</p> <p>第7回 C 保育園の実践から保育内容と方法について考える</p> <p>第8回 明治期における保育とその意義について学ぶ</p> <p>第9回 大正期の保育と倉橋惣三の理論から保育の原理を学ぶ</p> <p>第10回 昭和期の幼保二元化体制の確立について学ぶ</p> <p>第11回 平成期における認定こども園の制度的展開について学ぶ</p> <p>第12回 遊び中心の保育における援助と子どもの育ちを考える</p> <p>第13回 幼稚園・保育所・こども園と地域との連携について理解する</p> <p>第14回 現代の保育が抱える課題とそれぞれの園における危機管理について理解する</p> <p>第15回 保育原論にかかわる基礎的事項を確認し、これまでの学習成果をまとめる</p> <p><b>■準備学習</b></p> <p>授業内配布のレジメを読み込み、次回までに内容を記述できるようにしておく。</p> <p><b>■評価方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 期末試験 — 50%</li> <li>・ 授業内課題 — 30%</li> <li>・ 授業内小レポート — 20%</li> </ul>						
参考文献	ミネルヴァ書房「最新保育講座1 保育原理」	特記事項	【課題等へのフィードバック方法】 ・ 試験後、模範解答を提示して解説を行う。			
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状必修 保育士資格必修 社会福祉主事任用資格選択必修	幼	教職に関する科目			
		保	保育の本質・目的に関する科目			